

新潟県の主要指数の推移

区分	地域別最賃 (時間額)	1時間当たり 所定内給与額 (産業計) 1	高卒初任給 2				標準生計費 (一世帯18歳程度) 3	消費者物価指数 対前年上昇率 (新潟市) 4	有効求人倍率 5
			男	東京 格差	女	東京 格差			
19年	657	903	155,400	91.0	144,400	88.0	88,230	-0.5%	1.12
20年	669	955	156,400	92.0	150,500	89.0	100,750	1.1%	0.87
21年	669	922	153,700	89.0	146,400	87.0	119,280	-1.6%	0.47
22年	681	922	160,500	97.0	145,400	89.0	129,500	-0.4%	0.54
23年	683	916	152,700	93.0	141,100	88.0	117,500	-0.5%	0.67
24年	689	954	158,200	96.0	152,800	92.0	143,620	0.3%	0.83
25年	701	908	152,000	92.0	143,900	88.0	126,820	0.1%	0.96
26年	715	932	157,400	94.0	143,300	85.0	113,380	2.9%	1.15
27年	731	962(1,002)	163,000	89.0	154,800	90.0	117,350	0.6%	1.20
28年	753	993(1,180)	161,300	92.0	153,100	90.0	115,170	-0.1%	1.31
29年	778	969(1,045)	162,500	93.0	151,900	89.0	124,260	0.6%	1.50
30年	803	1,041(1,146)	168,200	95.9	158,700	91.0	115,100	0.9%	1.70
令和元年	830	1,061(1,103)	167,000	94.4	158,100	87.7	109,910	0.4%	1.64
令和2年	831	1,206	177,700	97.6	170,300	91.2	94,560	-0.3%	1.28
令和3年	859	1,127	182,200	94.7	177,500	83.8	123,710	-0.9%	1.34
令和4年	890	1,194	174,100	87.4	171,000	84.6	117,570	2.9%	1.57
令和5年	931	1,247	180,600	92.2	168,700	92.8	107,420	2.8%	1.55

- 1 厚生労働省「賃金構造基本統計調査」(短時間労働者)都道府県別第1表 男女計の産業計(カッコ内は令和2年調査と同じ推計方法を用いた過去分の数値)
- 2 厚生労働省「賃金構造基本統計調査」(令和元年まで[参考表 都道府県、性、学歴別初任給額及び格差])を使用していたが、使用表が廃止となったため、令和2年分から[都道府県別第4表 都道府県別新規学卒者の所定内給与額]を使用している。
- 3 新潟県人事委員会「職員の給与に関する報告及び勧告」
- 4 新潟県「新潟市消費者物価指数(年報)」
- 5 新潟労働局「新潟県の雇用失業情勢」